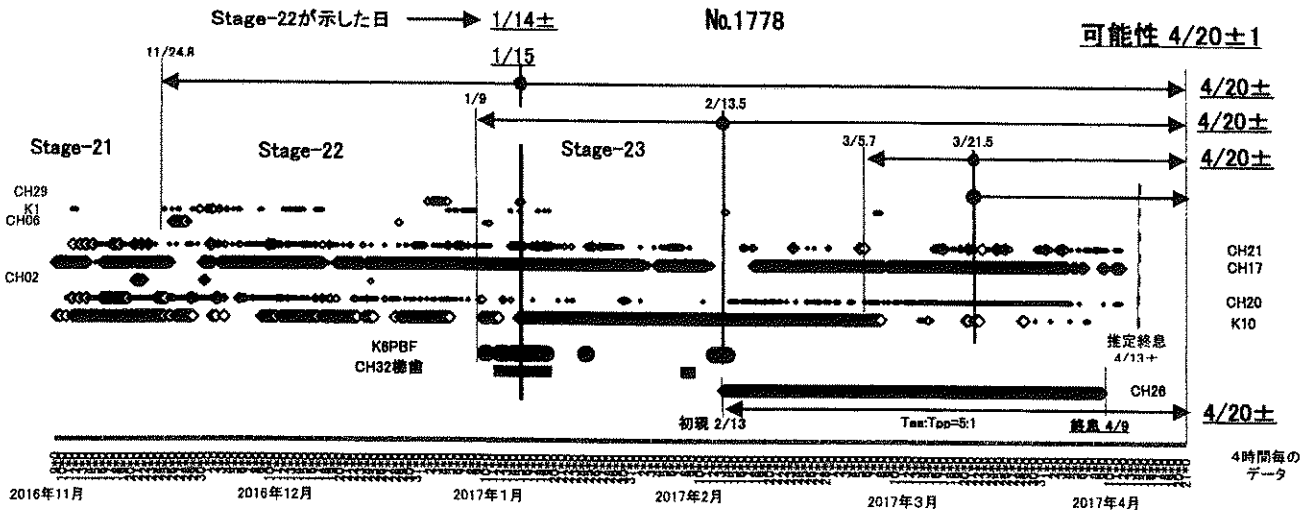


原稿校了後の前兆変化について

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254  
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

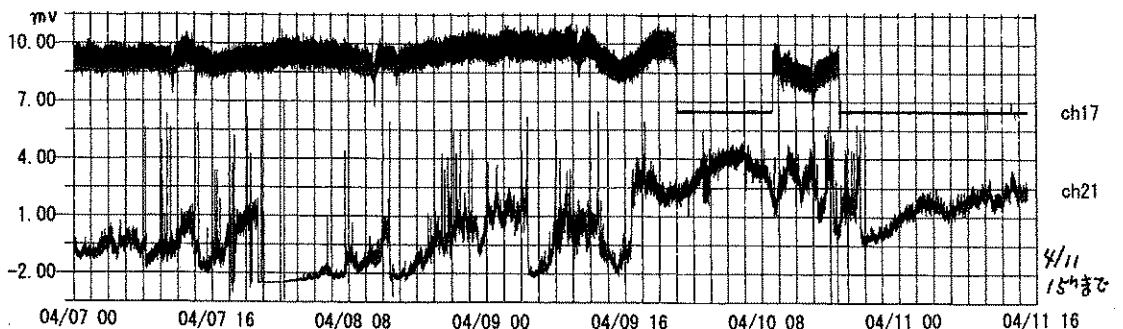
No.1778 長期継続前兆 全前兆完全終息=約5時間しか継続せず  
前兆再出現→直前特異ではなく、未だ前兆期間の可能性→4/20±可能性有



前情報で、2008年7月初旬から出現し、観測歴上最長に継続出現した前兆群=No.1778前兆群が04月09日夕刻に終息した可能性を報告致しました。4/9.7終息が正しい場合、4/16±発生の可能性が計算されました。

確かに4/9 17時頃より最後まで前兆が残っていたCH21は静穏基線に復帰しました。

このことから、あらためて前兆の関係を直しました。上図前兆出現状況図No.1778にはK6-PBF, CH32揃前兆も加えました。全体から4/20±の可能性は見えます。仮に3/21.5極大が最終極大であり、4/20±発生となる場合には現在継続出現中のCH17, 20の前兆が4/12夜~4/13



- ◆推定領域：右図 点線内領域=大枠 太線領域内=可能性考え易い領域 (ある程度火山に近い領域の可能性有)
- ◆推定規模：M7.8±0.5
- ◆推定期間：4月13日又は15日前兆終息が観測された場合=4月20日±
- ◇推定地震種：震源が浅い(30km以浅) 日本列島陸域地殻地震
- ◇推定発生時刻：午前9時±1時間 (又は午後6時±3時間)
- ※解析誤認で推定領域、規模等が実際と異なる場合は平に陳謝致します。



に終息する可能性が計算できます。但し 4/1のCH21は小ピークである可能性も否定できません。この場合には4/15±迄CH21は継続する可能性も有。今後を観測し続報させて戴きます。